



…今回は『うなぎ』の話です。

夏バテのこの時期に…

土用の丑

7月に入って、スーパーやコンビニなどに行くと「どようのうしのひ」という言葉が目に入ってきます。さて、この「どようのうしのひ」ってどういう意味か知っていますか。「土曜日に牛肉を食べる日？」と思っている人もいないではないでしょうか。正しくは、「土用の丑の日」と書きます。

さて、この「土用の丑の日」と聞くと思い浮かぶ食べ物がありますか。そう、うなぎですね。今回はこの「うなぎ」に関するひみつをクイズにしながら話題にしたいと思います。

では早速ですが、問題です。

問題① うなぎが住んでいるのは、海でしょうか。川でしょうか？

魚には、アジやマグロなどのように、海でくらす海水魚と鮎やイワナのように川などでくらす淡水魚がいます。さて、うなぎはというと…実は海と川、両方を行ったり来たりする魚なんです。とっても不思議ですね。それでは次の問題です。

問題② うなぎが産まれるのは、海でしょうか。川でしょうか？

海と川を行き来する魚で皆さんがよく知っているのは鮭ではないでしょうか。鮭は、川でうまれて海で育ち、自分がうまれた川に戻ってきて産卵することが知られています。では、うなぎも同じように川で生まれるのかというと実はそうではありません。うなぎがうまれるのは、海なのです。海でうまれたうなぎが川で育ち、また海で産卵をする。鮭とは逆の一生をおくるのですね。

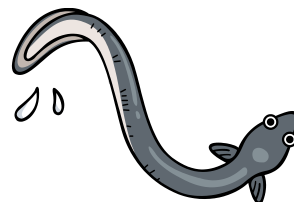
それでは、第3問です。

問題③ うなぎが産まれるは、どこの海でしょう？

縄文時代の遺跡からうなぎの骨が見つかっています。つまり、日本人は今から5000年ほど前からうなぎを食べているということになります。しかし、そのうなぎですが最近までどこの海で生まれるのか分かっていませんでした。

その謎をときたいと考えた人たちがいます。

このうなぎの謎解きは1930年ころから始まりました。



日本の河口では、うなぎの赤ちゃんである「シラスウナギ」が見つかっています。このシラスウナギよりも若い「レプトセファルス」を探す旅にでたのです。大きな海からこの小さな生き物を見つけるのはかんたんなことではありません。何日、何週間たってもレプトセファルスを見つけることはできなかったといいます。このような調査をくり返すことで、発見されるレプトセファルスの体長はどんどん小さくなっていきました。小さくなるということは、卵に近づいているということですね。



シラスウナギ



レプトセファルス

そしてついに、2009年、うなぎのたまごが2こ、マリアナ諸島の西の海で発見されました。これは、世界で初めてニホンウナギの卵が見つかった瞬間でした。

しかし今でもまだ、うなぎにはたくさんのなぞが残されています。

うなぎのなぞ① 海で生まれたのになぜ川にくる？

うなぎのなぞ② 日本の川で育ったうなぎはどうやって産卵場所へいくの？

これからも、うなぎのなぞときの旅は続きそうですね。

(神保)

土用の丑の日ってそもそもどういう意味？

「土用」と「丑」を調べて見ると、

土用 …… 立夏・立秋・立冬・立春の前、それぞれ十八日間、特に、夏の土用のこと。

丑 …… 十二支の二番め。 (例解小学国語辞典より)

とあります。つまり、「土用(立秋の前18日間にある)丑(日付)の日」という意味ですね。

2021年は7月28日になります。



なぜ土用の丑の日にうなぎを食べるの？

うなぎは冬眠に備えて栄養を蓄える10月頃が一番おいしい旬を向かえます。

それではなぜ、夏に好んで食べられるのでしょうか。これには諸説ありますが1つは夏バテ防止といわれています。

日本は昔から「う」がつくものを食べると、夏バテ防止になると言われていたようです。うり、うどん、うめぼし…。夏バテ防止として栄養価のたかいうなぎを食べるようになったのですね。

また、江戸時代に旬ではない夏にあまりうなぎが売れないことを困ったうなぎ屋が平賀源内に相談したところ前述した日本の風習をかけて「本日、土用の丑の日」という看板を出すことをアドバイスしたとか。



- 参考文献
- ・望岡典隆(2005)『月刊 たくさんのふしぎ ウナギのふるさとをさがして』福音館書店
 - ・内山りゅう(2016)『うなぎのいる川いない川』ポプラ社
 - ・塚本勝巳(2014)『ウナギのなぞを追って』金の星社

※園児や初等低学年では、読み解けないことが多数あります。保護者の方が読み聞かせをしたり、お子様がわかるようにお話していただく、などのご協力をしていただけるとありがたいです。

